

広報

あまの町 情報誌

はなわ

2014 1

平成26年1月1日

No. 602

謹賀新年

Contents (主な内容)

- 町長・議長 新年のあいさつ P. 2~3
- 川上発電所100周年 P. 4
- 2年目を迎える地域おこし協力隊 P. 6~7
- + ZOOM 菊池敬郎さん P. 10~11

2014 新年のごあいさつ



埴町議会議長
鈴木道男

町民の皆さんと共に 歩む議会づくりを 目指します

新年明けましておめでとうございます。清々しく新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。皆様方におかれましては、日頃より、町政に対し暖かいご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。昨年各地にて集中豪雨や竜巻など気象災害が多発しました。幸い、本町では台風による被害が少なかったものの人命に関わるようなものではなく、改めて住みよい町であると実感したところです。しかし、高齢化が進む中、緊急時の対応は年々重要な課題になっています。さて、昨年の町議会は、木質バイオマス問題や議会改革などに取

組んで参りました。特に、木質バイオマス問題は、町民の皆様方の大きな話題となりました。本議会としても特別委員会を設置し町民の皆さんや専門家の皆さんの意見を拝聴するなど、本議会としてできる限りの活動をしてきたところです。しかしながら、議会は真摯に対応しなかったのではないかなど数々のご批判を頂戴したのも事実です。議員には、全体の代表者たる側面と支持を受けた団体や個人の代表者たる側面があります。一部の住民を見て全体を見ないことも、全体を見て一部の住民を見ないこともできません。2つの側面が相反するとき、どのような判断をするのか、まさに正念場に立たされるのです。このような、議員の職責を改めて感じる出来事でした。今、議会では、議会基本条例制定に向けた取り組みをしています。議会活動の基本理念を条例にまとめ、町民の皆さんとお約束しようとするものです。議会をもっと開かれたものとして「町民の皆さんと共に歩む議会づくり」を進めます。町民目線の議会はどうあるべきか、議員の本分を果たすために、今年にはインターネットによる議会中継の実現を目指します。本議会



の映像を公開して広く町民の皆様方にご意見を頂戴しようとするものです。そのほか、風評被害、更には各産業の振興、住環境の整備、少子化対策、教育の振興など、埴町発展に向けて集中的に取り組んでまいり所存です。私たち議員一同、埴町民の代表として、その役割と責任の重さを自覚し、決意も新たに、幸せを感じできる埴町の実現に向け全力を尽くしてまいります。なお一層のご支援、ご協力を賜りますよう、心からお願ひ申し上げます。結びに、新しい年が皆様方にとって、実り多き年となりますことを心より祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。



埴町長
菊池基文

安心と希望を持って暮らせる 「しあわせ実感のまちはなわ」を実現

新年明けましておめでとうございます。町民の皆様におかれましては、平成26年の新春をつつがなくお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は埴町の町政推進に当たり、皆様に深いご理解と温かいご協力を賜り、心より感謝申し上げます。さて、昨年のわが国の政治・経済情勢を顧みますと、政治への不信感とともに、暮らしへの不安感が拭えきれないままの一年でございました。困難ともいえる東日本大震災及び福島原発事故後の復旧、復興への対応は思うように進展を見せずにおりましたが、福島に復興庁が設置されて、これからは本格的な復興が期待されるものがあります。また、経済動向においては、不安定ながら景気の持ち直しの兆し

が少しずつ表れてきております。一方埴町では、第5次長期総合計画の実現に向けた取り組みを推進してまいりました。地域特性を生かした農業振興では、町の花であるダリアのブランド化を図り、切り花の安定的な生産を目指してまいりました。その結果切り花の生産者も増え、「ダリアの町はなわ」のPRに大きく貢献しております。また、消費者と歩む産地づくりを進めるため、都市交流事業の強化を図ってまいりました。その一つである町のアンテナショップ（ダリちゃんショップ）は、週2回の開店に毎行列ができるほどの盛況ぶりでありました。さらに道の駅自体の組織強化と自立した運営を目指して、内部組織を一本化させた法人を設立し、指定管理者としてスタートをきりました。そして、観光推進体制の充実を図るため、観光協会の事務所を、新たに道の駅に設置し、埴町を訪れる観光客の案内や、町のPRを外部に向けて積極的に行ってまいりました。教育分野では、教育環境の充実を図るため、埴小学校、埴幼稚園が大規模改修工事により新しい学び舎となって機能も充実、念願であったエアコンが各教室に設置され、快適な環境で学習できる施

設となりました。また、引き続き教育指導員等の設置を充実させ、学力等の向上に取り組んでまいりました。さらに、学校給食センターの建替えも26年度中には完成となる運びであります。防災の面では、緊急時の災害に対応するため、防災センターを役場北側の庁舎を取り壊して建設します。また、私の公約でもある健康保健センターの建設に向けた準備も進めており、子どもからお年寄りまで利用できる夢のある施設づくりを目指して参りたいと考えております。長引く放射線対策は今後も健康不安への解消を図り、風評被害の払拭対策なども引き続き積極的に取り組みを進め、そして「山水花のまちづくり」を基本理念に、皆さんが安心と希望を持って暮らせる「しあわせ実感のまちはなわ」の実現に向け、全力を尽くしたいと思っておりますので、皆様の深いご理解とご協力をお願い申し上げます。結びに、今年一年が町民の皆様にとりまして、健やかで穏やかなよき年となりますよう心からご祈念申し上げますとともに、益々のご発展をお祈り申しあげまして、新年のご挨拶といたします。

川上発電所 運転100年

故白石禎美氏が建設、現在も町経済に寄与

東北電力株式会社川上発電所は、大正3年2月に運用を開始され今年2月で100周年を迎える。

当発電所は名譽町民である故白石禎美氏が、当時の日本が欧米に追い付くためには電気が重要であることをいち早く察知し、同氏が中心となり大正元年に棚倉電気株式会社を設立し、翌年に建設許可を受け発電所を建設。さらに翌年2月に運転が開始された。また、町内には同氏が設立した常置電気株式会社が大正12年に運用を開始した雨谷発電所もある。

故白石禎美氏は、水郡線の開通など、埴町はもろろん福島県の発展に多大な功績がありますが、同氏の卓越した先見の明は、町の発展に寄与された。

現在の川上発電所の出力は800kWあり、一般的な家庭の約2,000世帯の電力使用量を発電しており、発生した電力は、主に県南地方で消費されている。



【位置】	取水口 大字大蔵字川平地内 発電所 大字川上字東平地内
【水系】	川上川
【設備】	最大出力 800kW 最大使用水量 3,141 m ³ /S 有効落差 38.79m 台数 1台
【沿革】	大正2年1月 許可を受け建設 大正3年2月 運用開始 大正13年5月 棚倉白河線を新設 昭和8年8月 雨谷発電所と送電線を結ぶ 昭和23年3月 埴変電所が新設 昭和33年3月 随時監視制御方式となる 昭和47年7月 白河制御所より遠方制御方式となる 昭和58年12月 改築により現在の建物となる 昭和60年2月 白河から須賀川制御所へ遠方制御に切り替えられる

※本データは東北電力株式会社から許可をいただいで転載しています。

社会福祉の増進のために



委嘱状の伝達を代表で受けた三森和代さん

一斉改選に伴う民生・児童委員の委嘱状伝達式が12月6日(金)、埴農村勤労福祉会館大研修室で行われました。菊池基文町長が12月1日付で委嘱された委員35人(うち主任児童委員2人)に対し、委嘱状を伝達しました。式終了後、民生・児童委員協議会が開催され、昨年に引き続き、会長に青砥貞一さん(伊香)、新たに副会長に藤田礼子さん(植田)が選ばれました。

新たな民生・児童委員35人に委嘱状伝達 退任された委員17人に感謝状を贈呈

委嘱状伝達式の前には、6年(2期)以上委員を務められ退任された12人の皆さんへ厚生労働大臣感謝状が伝達、3年(1期)委員を務められ退任された5人の皆さんへ町感謝状が贈呈されました。

厚生労働大臣感謝状受賞者 ※敬称略

- ・下重ケエ子(材木町)
 - ・穂積 誠一(大町)
 - ・佐藤 正利(東河内)
 - ・生方 和枝(常世北野)
 - ・萱原 寧(常世北野)
 - ・遠藤 喜勝(常世中野)
 - ・近藤 忠夫(板庭)
 - ・菊池 伴子(山形)
 - ・神永 トク(大畑)
 - ・鈴木 新一(片貝)
 - ・深谷 正紀(川上)
 - ・瀬谷 八洲(東河内)
- 町感謝状受賞者 ※敬称略
- ・金澤 智恵(本町)
 - ・芳賀 佳代(栄町)
 - ・佐藤りゑ子(堀越)
 - ・藤田 一三(田代)
 - ・本多 貞雄(真名畑)

埴町民生・児童委員

※敬称略・()内は担当地区

■会長	青砥 貞一(伊香)
■副会長(会長職務代理者)	藤田 礼子(植田)
■委員名	担当地区
三森 和代	(埴1・2区) 大野 正男(矢塚・石堀子)
鈴木 利子	(埴3区) 藤田 忠勇(片貝)
菊池 京子	(埴4区) 白石 茂夫(折籠)
榎 祐一	(埴5区) 鈴木 勝美(木野反・湯岐)
石井 一雄	(埴6区の一部) 北郷 恵(川上4区・前田)
青木 一	(埴6区の一部) 鈴木 一(川上3区・森之根)
白坂 政昭	(上渋井) 鈴木 芳朗(川上1・2区)
鈴木 良治	(堀越・小高) 青砥 森次(上石井1)
上妻 周子	(西河内) 石川 満子(上石井2)
藤田 主計	(東河内) 戸井田 衛(稲沢・台宿1区の一部)
藤田 一美	(水元・八幡) 川又セツ子(台宿1区の一部)
下重 政壽	(赤坂・竹之内) 白石 仁一(台宿2区・台宿1区の一部)
荒川 正康	(常世中野) 青砥 貞一(伊香)
松本 芳郎	(板庭・中塚) 藤田 礼子(植田)
鈴木真理子	(山形・田野作・田代の一部) 本多 永典(真名畑)
松本 清人	(田代の一部) 下重 康仁(主任児童委員)
鈴木 次郎	(大蔵・大畑) 村上 貞吉(主任児童委員)
菊池 豊一	(那倉)



上：厚生労働大臣感謝状を受賞された下重ケエ子さん
下：町感謝状を受賞された金澤智恵さん

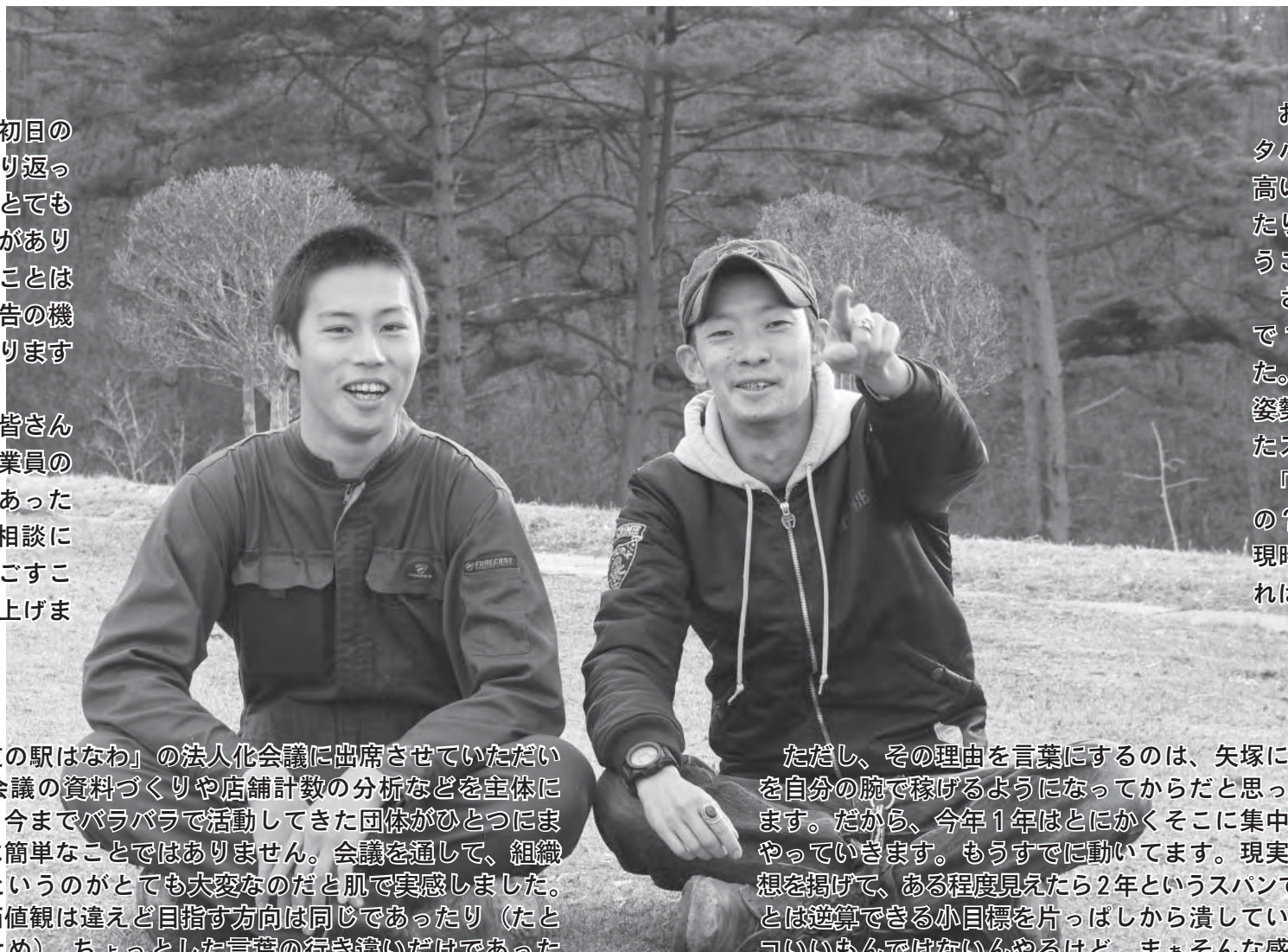
地域おこし協力隊 赴任2年目を迎えます

2年目を迎える地域おこし協力隊の加納耕介さんと利根川久範さんへ、12月2日(月)役場応接室で委嘱状が交付されました。任期は平成26年11月30日までですが、最長3年まで延長できます。

赴任1年目を終えて

埴町に住みはじめて1年になります。今でも赴任初目の大雪を昨日のこのように思い起こせます。ただ、振り返ってみると長かったような、あっという間のような、とても不思議な感覚です。この1年間本当にいろんなことがありました。とてもすべての出来事をここで書き尽くすことができません。ただ、せっかく埴町のみなさんにご報告の機会をいただいたので、この1年をざっくりとはありますが振り返ってみたいと思います。

その前にひとつだけ。私はこの1年間矢塚地区の皆さんをはじめとして、役場の方々、道の駅の生産者・従業員の皆さん大変お世話になりました。風邪をひいたときあったかいどんを頂いたり、遊びの誘いや夜遅くまで相談に乗ってくれたり、素敵な方々と素晴らしい時間を過ごすことができました。この場を借りて改めて感謝を申し上げます。ありがとうございました。



「矢塚のみなさんへ」

おはようございます。分校の加納です。タバコ買うのに車で往復50キロ。飲み代より代行の方が高いやないかい！そんな標高800mの暮らしもすっかり当たり前というか、別に？ としか思わなくなってきたきょうこの頃。今年もやっぱり寒いっすね。

さて、早いもので天空生活も2年目に突入。おかげさんで1年目は朝から晩までおおいに満喫させていただきました。感謝の意を具体化し始めたらキリがないので、それは姿勢と行動でこれから自分なりに示していきます。限られたスペース、せっかくなんでこれからの話をしましょう。

『で、加納君は協力隊の活動が終わっても矢塚に住むの？』よく聞かれます。よく考えます。正直に言います。現時点ではわかりません。ずっといたい理由もいっぱいあれば、その逆も同じくらいいっぱいあります。

地域おこし協力隊

tonegawa hisanori
利根川 久範



PROFILE

とねがわ ひさのり 27歳
東京都町田市出身
趣味：読書、映画鑑賞
3年半小売・流通業の会社を経て、主に「道の駅はなわ」を担当し、情報発信や法人化の取り組みに参加、自らも農作物やダリアを栽培して活動中。

就任時から「道の駅はなわ」の法人化会議に出席させていただいています。主に会議の資料づくりや店舗計数の分析などを主体にやってきました。今までバラバラで活動してきた団体がひとつにまとまるというのは簡単なことではありません。会議を通して、組織を一からつくるというのがとても大変なのだと思感しました。ただ、考え方や価値観は違えど目指す方向は同じであったり(たとえばお客さまのため)、ちょっとした言葉の行き違いだけであったりすることが少なくありませんでした。お客さまのため、生産者のため、あるいは従業員のために何ができるのか。ブレずにみんなで考えていければ未来はそんなに暗くはないかもしれません。現場主体の話し合いも回数を重ねてまいりました。自分の力は微力かもしれませんが、自分にできることを継続してやっていこうと思います。

去年の5月から矢塚の農家さんから指導を受けて、ダリアの生産をはじめました。10年間使われていなかったハウスを再生させてのスタートでした。トラクターでは場を耕して、パイプだけのハウスにビニールを貼って、農業現場初体験は驚きと戸惑いの連続でした。土壌に水気が多く、ブランクもあるので、本当にダリアが咲くのかどうか半信半疑でした。芽が出て、すくすく大きくなっていくのを毎日眺めていると、小学生のようにドキドキしました。最初に咲いたハミルトン Jr. のオレンジがとてもきれいで、感動したのを覚えています。9月には素敵なお縁があって、秋田の鷲沢幸治さんに同行して「秋田国際ダリア園」を見学させていただきました。自分が3カ月間育ててきたダリアと花の大きさ、色彩、葉の厚み、何から何まで違うのに本当に驚きました。少しでもこの品質に近づきたい、今年は1年目よりもいい花をつくと気持ちを新たにしています。

ただし、その理由を言葉にするのは、矢塚にずっといられるカネを自分の腕で稼げるようになってからだと思っています。そう決めています。だから、今年1年ほどとにかくそこに集中していろんなことをやっています。もうすでに動いています。現実を直視するために理想を掲げて、ある程度見えたなら2年というスパンで大目標を置いて、あとは逆算できる小目標を片っぴしから潰していく。実際そんなカッコいいもんではないんやけど、まあそんな感じの毎日です。矢塚のみんなで作った地域活性化団体、明日香塾。皆さん、最近明日香塾へのモチベーションはどうですか？ テンション上がってますか？ 正直ちょっとめんどくさくなってますか？ オレはそのどっちでもなく、とにかくもっと具体化していきたい。町おこしとか地域活性化とか、結局何が成功で何が失敗かもはっきりしないような言葉はからまつ峠にでも埋めといて、ゴールをイメージしながらみんなと走りたい。

定住促進、観光地化、あるいは現状維持。なんでもいいです。できればもっと、夢物語なぐらいの方がいいです。まず理想をできるだけ高らかに掲げる。すると心が折れそうぐらいの現実が見えてくる。忙しい、向いてない、こんな不便なところで、あとは若い人が・・・抜ける人も出てくるでしょう。楽しくない夜も増えるでしょう。でも、それでも、せっかく忙しい間をぬってこうやってみんなで頑張るとるんやから、いつか心からの祝杯を挙げられるように、ぼちぼち「これ！」っていうの決めていきませんか？それさえ決まれば、少なくともオレはこれからの2年間イチ矢塚区民として全力で頑張れます。理想なき者現実語るべからず。みんなとなら、オレはけっこう自信ありますよ？

あかん、全然しゃべりたりんけど字数オーバー。続きはいつも通り職員室で。とりあえず新年会やろーぜ新年会！

地域おこし協力隊

kano kosuke
加納 耕介



PROFILE

かのう こうすけ 28歳
兵庫県神戸市出身
趣味：テニス、野球、サッカー、Jリーグ
(株) デイリースポーツ社を経て、旧矢塚分校を拠点に矢塚地区で活動中。詳細はFacebook・Twitter「天空の秘密基地 矢塚分校」を検索

心 温 ま る 善 意

株式会社レオ・コーポレーション様から100万円

千葉県船橋市の不動産会社・株式会社レオ・コーポレーション様から昨年引き続きふるさと納税として100万円が寄付されました。12月4日(水)、同社社長の吉村典久さんが役場を訪れ、「まちづくりの役に立てれば」と、菊池基文町長へ手渡しました。



菊池基文町長へ寄付金を手渡す吉村典久さん(右)



倉橋一男さん



白石好子さん

工業の実態を把握する

平成25年工業統計調査員に委嘱状交付

12月31日現在で行う、製造業を営む事業所を対象にした工業統計調査。この調査を行う調査員に対する委嘱状交付式が12月3日(火)、役場応接室で行われました。

菊池基文町長が、佐藤雄平県知事からの委嘱状を伝達。その後、事務局から事務説明が行われ、調査についての確認を行いました。製造業を営む事業所においては、調査へのご協力をお願いします。

調査員氏名(敬称略)

- 白石好子(本町)
- 倉橋一男(西河内)

農地取得等に係る 下限面積(別段の面積)の設定

農地の取得等については、優良農地の確保や効率的な利用を図る観点などから、農地法により「下限面積(北海道を除き原則50a以上)」が設定されています。

この下限面積については、平成21年12月の農地法改正により、農業委員会が農林水産省で定めた基準に従い「別段の面積」を定めることができることされています。

これにより、当町農業委員会では、平成25年11月20日開催の第11回農業委員会

農地法第3条第2項第5号の農業委員会が定める別段の面積	
区域名	大字堀越、大字西河内、大字田野作、大字山形、大字大蔵、大字田代、大字那倉、大字片貝、大字湯岐、大字木野反、大字真名畑の区域
設定面積	30a

※設定以前は、埴町全域50aの設定となっていました。

- 理由
- ①埴町は農業従事者の減少、高齢化等により遊休農地が増加している状況にあります。
- ②下限面積を引下げることにより新規就農者等の参入促進を図り、耕作放棄地の解消と発生の未然防止につなげる必要があるため。

■問い合わせ
埴町農業委員会 ☎43-2119



農地パトロール時に確認された遊休農地

総会において審議した結果、左表のとおり一部区域について下限面積(別段の面積)を設定することになりました。

施行年月日
平成25年11月25日

埴町農業委員会委員一般選挙

- 投票日 2月2日(日)
- 投票時間 午前7時~午後6時
- 投票区 下記表のとおり

投票区名	包括する区域(大字)	投票所
埴	埴、上渋井、上石井	埴第一コミュニティ消防センター
常豊	常世北野、常世中野、竹之内、西河内、堀越、東河内	常豊地区公民館
笹原	中塚、板庭、川上、山形、大蔵、田野作、田代、那倉、片貝、湯岐、木野反	笹原地区公民館
高城	台宿、伊香、植田、真名畑	高城地区公民館

2月17日(月)をもって任期が満了する埴町農業委員会委員一般選挙が、2月2日(日)に執行されます。この選挙を執行するための各種事務は、下記のとおり行いますのでお知らせします。立候補の意思のある方(または代理人)は、立候補予定者説明会に必ず出席のうえ、関係書類を受け取るようお願いします。

立候補予定者説明会

- 日時 1月14日(火)午後1時30分
- 場所 埴農村勤労福祉会館 小研修室

事前審査

- 日時 1月23日(木)午前9時~午後4時
- 場所 埴農村勤労福祉会館 小研修室

立候補受付(告示日)

- 日時 1月28日(火)午前8時30分~午後5時
- 場所 埴農村勤労福祉会館 小研修室

問い合わせ

選挙管理委員会 ☎43-2111

楽しく元気に毎日を過ごす

〜平成25年度楽々元気アップ教室〜

9月から毎週水曜日に開催されてきた「楽らく元気アップ教室」。全12回の行程を修了し、12月11日(水)閉講式が行われました。

本教室は、町の介護予防教室として、今年度16名が参加し、(財)栃木県健康倶楽部の小熊理恵さんからスタッフと一緒に、体力測定や身近な道具を使っての運動、栄養管理や口腔ケアなどを学びました。

最終日の閉講式では、園部秀次副町長から代表で小峰スエ子さんが修了証書を授与され、今後の継続について復習が行われました。



修了証書を受け取る参加者

教室に参加された方からは「楽しく学ぶことができ、教室に来ることが、毎週楽しみだった」「足の痛みに悩んでいたが、学んだおかげで良くなった。今後も続けていきたい」などの感想がありました。



身近な道具で運動機能向上



バランスの良い食事を考える

図書館情報

1月のテーマ

お正月・馬の本

図書館では毎月テーマを決め、そのテーマに関する本を集めたコーナーを設けています。今月も、その中から一冊の本を紹介いたします。

なお、読みたい本が貸し出し中の場合、予約ができます。(☎43-0808)

「この世でいちばんすばらしい馬」

チェン・ジャンホン/作・絵
平岡 敦/訳
徳間書店



●ものがたり

今から1200年以上前に中国に実在したハン・ガンという絵師の描く馬が絵から飛び出して動き出すという不思議な話です。

絵から飛び出した馬が武将を乗せて戦場に行くシーンでのハン・ガンの言った「大切にしてください」の一声が心にしみみます。

力強く迫力のある絵で馬を愛する気持ちにあふれていて、絵本の絵というより美術館の資料のような素晴らしさです。馬の目から涙が流れる場面では圧倒され考えさせられる、そんな絵本です。

年齢を問わずおすすめです。



地元福島 の舞台で!

PROFILE

【きくち・てつろう】

生年月日：1984年 5月26日

出身校：埴中→自河旭高→国際武道大学→上越教育大大学院

種目：110^{フル}ハードル

自己記録：13秒92（福島県記録）

その他：現在、教職員を目指し二本松市で講師を勤める。

弟には、同じく3,000^{フル}障害の福島県記録を持つ

菊池敦郎さんがいる。

目標を あきらめない

～110^{フル}ハードル福島県記録を更新～

陸上競技の障害走の一種で、10台のハードルを跳び越えながら110^{フル}メートルを走るタイムを競う競技「110^{フル}メートルハードル」で、18年ぶりに福島県記録を更新した「埴町の菊池徹郎さん」。

中学生時代からはじめた110^{フル}メートルハードル、高校時代インターハイ出場、高校3年生から福島県陸上選手権で3連覇（現在は6連覇中）、大学院2年から東北陸上選手権で3連覇と輝かしい記録を作り上げてきた。そして昨年10月27日（日）、母校である国際武道大学競技会において、自己ベスト13秒92を記録。自身が陸上競技を続けてきた最大の目標のひとつ、福島県記録の更新を達成。同時に今年6月に福島市「とうほう・みんなのスタジアム（福島県営あづま陸上競技場）」で開催予定の「第

98回日本陸上競技選手権大会」の参加標準記録（14秒00）を突破された。

これまで何度も失敗し、何度もケガをし、うまくいかず悩んだり苦しんだり、落ち込んだりしました。それでも目標達成のためにあきらめずに続けてきて、今回の結果につながったことはうれしく思いますと話す徹郎さん。

社会人になってからは、決して良い練習環境ではない状況の中、信念を持ち徹しい練習に打ち勝ったその姿に、彼のストイックさを感じる。

今年の目標は、「もちろん日本選手権に出場し、入賞」その先へ。また応援してくださいと多くの方々やいつも見守ってくれた両親に恩返しをしたい」と決意を語る。

集大成とも言える舞台は、今年6月の福島市、準備はできた。

プラス + ZOOM

この人に注目

HANAWA 2014

福島県南陸上競技協会所属

菊池 徹郎さん
kikuchi tetsuro

（板庭出身）



（福島民報社提供）

サークル活動、イベント等に参加希望の方は、はなわふれあいスポーツクラブ事務局にお問い合わせください。
お待ちしております。

癒しの時間

ハーブ・アロマを学びながら
楽しく香りグッズを作ろう!

日時 1月28日(火)
午後7時～午後9時
場所 埴町公民館
対象 クラブ会員およびどなたでもお気軽にご参加ください。男性参加者大歓迎!
内容 ハンドトリートメント
魔法のクリーム作り
(全身用クリーム)
参加費 会員 500円
非会員 1,000円
材料費 2,000円
持ち物 筆記用具

新春バドミントン大会

New year cap

日時 1月23日(木)
午後8時～
(午後7時～自由練習)
場所 埴町営体育館
申込 当日、会場にて受付
参加費 100円
内容 当日、参加者全員で抽選によりダブルスペア決定

<冬の運動注意点>

寒い季節になりました。普段の活動の中でもケガをしないために、十分なウォーミングアップに心掛けてください。

また、暖かい所から寒い所へ急激に移ると、脳梗塞や心筋梗塞を起こす原因となる場合があります。事故を防ぐには、徐々に体を慣らすことが大切です。

冬季の運動は、衣服にも細かい配慮が必要です。運動して熱くなった時、何枚か脱げるような服が好ましいでしょう。運動後は、体が冷え切る前に厚着ができるようにしましょう。汗の処理のために、着替えやタオル等も準備しておきたいですね。これらのことを心掛けて、冬も楽しく運動してください。

携帯電話から
今すぐアクセス!



はなわふれあいスポーツクラブ
http://hanawa-fsc.jp
埴町大字埴字桜木町80(埴町公民館)
☎0247-43-2644 FAX43-1883
mail:hanawa.fsc@gmail.com

第60回文化財防火デー火災防御訓練

埴町の文化財を火災等の災害から守るため、第60回文化財防火デーに伴った火災防御訓練を実施します。

- 対象 伊香区民および関係者
- 訓練実施日 1月26日(日)午前9時～
- 訓練対象物 古宿観音堂(伊香字古宿213)
- その他 当日は訓練に伴いサイレンを鳴らしますので、火災と間違えないようご注意ください。
- 問い合わせ 生涯学習課 ☎43-2644



▶ 昨年の火災防御訓練

「文化財防火デー」とは

文化財防火デーの制定は、昭和24年1月26日に、現存する世界最古の木造建造物である法隆寺(奈良県)の金堂が炎上し、壁画が焼損したことに基つき、昭和30年に文化財防火デーと定め、文化財を火災、震災その他の災害から守るとともに、全国的に文化財防火運動を展開し、国民の文化財愛護に関する意識の高揚を図っています。

埴町でも毎年地域の方々、消防団と協力し、火災防御訓練を実施しています。

神社やお寺、お堂や仏像など、私達の身近には貴重な文化財がたくさんあります。

1・2月は、一年のうちで最も火災が発生しやすい時期です。これらの歴史遺産を火災で失わないためにも、一人ひとりが防火意識を持ちましょう。



マナビ はなわ

～埴町生涯学習だより～ 1月号

発行：埴町教育委員会生涯学習

問い合わせ

■生涯学習課

☎43-2644

■埴町公民館

☎43-0320

■まなびとファインダー URL

http://www.manabito.fks.ed.jp/win.html



▲講演中の桑田真澄さん

埴町文化祭ファイナーレ

文化講演会

元プロ野球選手 桑田真澄氏

10月31日(木)から埴町公民館で開催した第52回埴町文化祭。12月1日(日)の埴町文化講演会を最後に、大好評のうちに閉幕しました。美術展や青少年の主張大会、芸能祭など今年も盛りだくさんの内容で、たくさんの方の参加・観覧者がありました。

文化祭の最後を飾った埴町文化講演会には、聴講するために約430人が集まりました。

今回の講演は、元読売ジャイアンツ、元メジャーリーガーの桑田真澄氏を講師に迎え「絆、夢、努力、ありがとう」と題して講演をいただきました。講演に先立ち短編映画「桑田真澄・心の野球」が上映された後、桑田氏が登場すると、会場からは大きな拍手。

また、会場内から希望者を壇上に招き、現役時代のユニホームなどを着させてくれるサプライズがあり、会場は大いに盛り上がり、文化祭のファイナーレを飾るにふさわしい講演となりました。

手と歓声が上がりました。講演では、華やかな野球人生を送ったと思われがちな桑田氏ですが、人生で3度の挫折を経験し、野球をあきらめたこともあった。また、目標を達成するためには努力することが大切であると語りました。



▲多くの方に聴講いただきました

情報くらしの報

役場の電話番号
☎0247-43-2111 (代表)
役場のFAX
0247-43-2116
町のホームページアドレス
http://www.town.hanawa.fukushima.jp/

町のメールアドレス
soumu@town.hanawa.fukushima.jp
※意見や要望のある方はご利用ください。

【直通電話番号】
総務課 ☎43-2111
町民課 ☎43-2113
健康福祉課 ☎43-2114
包括支援センター ☎43-2115
まち振興課 ☎43-2224
まち整備課 ☎43-2227
水道課 ☎43-2112
会計室 ☎43-2118
埴保育園 ☎43-2117
議会事務局 ☎43-2148
農業委員会 ☎43-2149
教育委員会 ☎43-0377
学校教育課 ☎43-2150
生涯学習課 ☎43-2119
公民館 ☎43-4050
図書館 ☎43-2644
給食センター ☎43-0320
東白衛生組合 ☎43-0808
☎43-0188
☎43-0378

募集

頑張る人を応援します
埴町奨学生

平成26年度埴町奨学金資金貸与奨学生候補者を募集します。

- 対象者**
- ①埴町在住者で埴中学校3学年に在学し、平成26年4月に大学(短大・大学院含む)、専修学校(2年以上の課程に限る)に進学を希望している方
 - ②高等学校3学年に在学し、平成26年4月に大学(短大・大学院含む)、専修学校(2年以上の課程に限る)に進学を希望している方
- 募集人数**
選考の上、全体で5人程度
- 貸与額**
○高等学校、高等専門学校、

専修学校(高等課程) 月額 15,000円以内
○大学(短大、大学院含む)、専修学校 月額 50,000円以内

資格
①埴中学校卒業で、埴町に引き続き6カ月以上住所を有し、高等学校、高等専門学校、専修学校または大学などに進学を希望する方で、品行正しく学術に優れ健康な方

②経済的理由で就学が困難と認められる方
③他から奨学金の貸し付けまたは給付を受けていない方が必要です。

出願締め切り
3月3日(月)

返済方法
高等学校・大学などを卒業した月の6カ月後から、月賦または年賦で、最高10年以内で返済する。

問い合わせ
教育委員会管理係

相談

原子力損害賠償に関する弁護士による巡回法律相談

福島県では、原子力損害賠償について弁護士による巡回法律相談を実施しています。相談は無料です。お気軽にご相談ください。なお、相談時間は30分で、事前の予約が必要です。

予約受付電話
☎024(523)1501

実施日時
○1月16日(木)・23日(木)・30日(木)
○2月6日(木)・13日(木)・20日(木)

※全て、午後1時30分から午後3時50分まで

お知らせ

償却資産の申告は1月31日まで

固定資産税は、土地や家屋のほか、償却資産にも課税されます。町内に償却資産を所有されている方は、平成26年1月1日現在の状況を申告してください。

償却資産とは?
事業を営んでいる会社や個人が、その事業のために所有している土地や家屋以外の事

業用資産(機械、器具、構築物など)のことです。

償却資産の一例

- 構築物 舗装路面、広告塔、プレハブ式事務所、ビニールハウス、豚舎、鶏舎、牛舎など
- ※家屋評価の対象になっていないものは除きます。
- 機械および装置 電気・化学・建設・印刷機械、加工修理などに使用する機械など
- 車両および運搬具 大型特殊自動車、自転車、荷車など
- ※自動車税および軽自動車税の対象になっていないものは除きます。
- 工具器具および備品 机、イス、ロッカー、金庫、応接セット、陳列ケース、キャビネット、レジスター、複写機、厨房用品、看板など

対象にならない償却資産
○耐用年数1年未満の資産

○少額償却資産

取得価額が10万円未満の資産で、法人税法等の規定により一時に損金算入されるもの

○一括償却資産
取得価額が20万円未満の資産で、法人税法等の規定により3年間で一括して均等償却するもの

申告は義務付けられています
償却資産は地方税法383法によりその所有者に対して申告が義務付けられています。

※免税点であっても申告は義務付けられています。

免税点
申告によりその合計の課税標準額が150万円未満の場合は、償却資産に対する課税はありません。

申告の方法は?

1月1日時点で町内に所在・所有している償却資産(自己所有および他者へ貸し付けしているものも含む)の内容を、「償却資産申告書」「種類別明細書(増加・減少)」など所定の様式に記載して提出してください。

なお、増減の無い場合や廃業・解散の場合でもその旨を申告書に記載の上提出してください。

申告に必要な書類は12月下旬までに郵送しています。申告が必要な方で必要書類が届かない場合はご連絡ください。

申告期限
1月31日(金)

※申告期限間近になると混雑しますので、1月20日(月)までの申告にご協力ください。

提出先・問い合わせ

町民課 課税係
☎(43)2113

不審な電話に注意
国税局や税務署の職員を名乗る者からアンケートや年金受給調査と称して、個人情報提供を聞き出そうとする事例が多発しています。

不審な電話があった場合は、最寄りの税務署にお問い合わせください。

問い合わせ
白河税務署総務課
☎0248(22)7111

受診していただけますか?
「がん検診」

健康福祉課
国民の3人に1人はがんで亡くなっていますが、県内市

町村で実施した5つのがん検診(※)受診率は50%にも達していません。(平成23年度実績)

早期のがんは症状がないため、定期的に「がん検診」を受診することにより、がんの有無を調べる必要があります。早期発見・早期治療のためにも、定期的に「がん検診」を受診しましょう。平成26年1月・2月に施設健診を実施します。希望される方は、電話(4312115)でお申し込みください。

※5つのがん検診とは
胃がん、肺がん、大腸がん、乳がん、子宮(頸)がんの検診のことをいいます。

問い合わせ
健康福祉課健康推進係
☎(43)2115

福島県住宅用太陽光発電補助金制度が改正されます

福島県企画調整部
県および県再生可能エネルギー推進センターでは、平成25年1月から福島県住宅用太陽光発電補助制度を実施していますが、平成26年1月から一部制度を改正します。

主な改正内容
申請時の添付書類を一部変更し、これまでより約2カ月早く県へ申請することができます。

制度改正の適用日
平成26年1月1日

問い合わせ
福島県企画調整部
エネルギー課
☎024(521)8417

おくやみ申し上げます
11月16日から12月15日までの届け出

亡くなられた方	年齢	住所
緑川 しもえ	89歳	折 籠
藤田 直一	64歳	常世中野
郡司 弘	79歳	大 町
白石 静枝	88歳	川 上
石川サタエ	103歳	上 石井
古市 高明	77歳	本 町
戸井田文子	82歳	稲 沢
鈴木 幸子	75歳	伊 香
原田美才子	86歳	上 石井
大縄 正明	59歳	本 町
近藤 イト	90歳	柳 町
塚田トミエ	96歳	植 田

※この欄に掲載を希望されない方は、届け出の際に窓口にお申し出てください。
※「こんにちば赤ちゃん」は19ページに掲載してあります。

町が独自に調査した放射線測定値を報告します

(町内 35カ所)

片貝分館	折籠集会所
12/12 0.08	12/12 0.10
12/12 0.10	12/12 0.10
12/12 0.09	12/12 0.10
12/12 0.12	12/12 0.10
12/12 0.12	12/12 0.10
12/12 0.12	12/12 0.10
12/12 0.12	12/12 0.12
12/12 0.11	12/12 0.12
12/12 0.12	12/12 0.13
12/12 0.11	12/12 0.11
12/12 0.10	12/12 0.13
12/12 0.11	12/12 0.10
12/12 0.11	12/12 0.10
12/12 0.11	12/12 0.10
12/12 0.10	12/12 0.09

※測定機器：シンチレーションサーベイメータ 日立アロカ TCS172
※福島県ホームページにおいて、福島県放射線測定マップが公表されています。

Town Topics



まち活性化へ願いを込めて（一斉にスイッチを押す関係者）

彩る光がまちを飾る

—街なかイルミネーション点灯式—

人いきいき・街きらきら活性化実行委員会による街なかイルミネーション点灯式が12月2日（月）、駅前のフォレスト5広場で行われました。

今年で5年目となったこの点灯式。式には、園部秀次副町長ほか関係者30人が出席。スイッチを入れると、街路樹に取り付けられたLED電球が一齐に点灯。また、商店街と駅前商店街活性化研究会の干支のイルミネーションが飾られました。なお、このイルミネーションは1月末まで午後5時から9時まで点灯されます。

若者の雇用促進・定住化へ向けて

—株式会社オーゼキ福島新工場地鎮祭—

今年5月に行われた企業誘致調印式で旧高城小学校跡地を取得した株式会社オーゼキの福島新工場（仮称）地鎮祭が12月12日（木）、関係者約40人が参加し同敷地で行われました。七宮広樹宮司による神事が行われ、代表取締役社長の大関隆司氏らによる鍬入れのあと、菊池基文町長らが玉串をささげ工事の安全を祈願しました。

新築工場は、鉄骨造平屋建（一部事務所2階建）の3,997.67平方メートルの工場棟が建設され、今年7月末に完成する予定です。

▶鍬入れをする株式会社オーゼキの大関隆司代表取締役社長

▼玉串をささげる菊池基文町長



全国の舞台で花を咲かせる

—塙中女子剣道部へ激励金交付—

11月の県中学校選抜剣道大会で悲願の初優勝をした塙中女子剣道部。12月25日から兵庫県で開催された内閣総理大臣杯・第31回若鷲旗剣道大会への出場に対する激励金交付式が12月10日（火）、役場応接室で行われました。

菊池基文町長から出場選手一人一人に激励金が手渡され、「皆さんの活躍が町民の励みになっています。頑張ってきてください」と激励しました。

選手を代表して井坂主将から「多くの人に支えられていることに感謝し、みんなで力を合わせ恩返しできるよう頑張ってください」と力強いあいさつがありました。



上段左から藤田教育長、菊池町長、結城塙中校長、鈴木剣道部顧問
下段左から生方彩恵さん、金澤晴佳さん、井坂愛さん、八幡千尋さん、鈴木香穂さん



ワークショップで活発に意見を交わす委員の皆さん

はなわの魅力倍増！

—観光まちづくり委員へ委嘱状交付—

観光まちづくり委員への委嘱状交付式が11月29日（金）、塙町商工会館で行われました。菊池基文町長が商工会青年部4名、女性部3名、商業部3名、職員2名、観光協会2名、町職員5名へ委嘱状を交付しました。

観光まちづくりは、ワークショップで町内の資源を活用したプログラムを作り上げ、既存の観光資源の魅力倍増を図り、開発・発掘・活用することを目的に進められます。委嘱状交付式後には第1回ワークショップを開催。今年度末までにコンセプト・ストーリーを作り上げます。

元気いっぱいの名演技

—塙・笹原幼稚園生活発表会—

塙・笹原両幼稚園の生活発表会が11月30日（土）、同園ゆうぎ室で行われました。園児たちは、この日のために一生懸命覚えた劇や歌・踊りを披露しました。塙幼の年長・もも組による劇「スーパーモンキーゴクウ！（写真：上）」、笹幼の年長・ひまわり組による言語劇「しらゆきひめ（写真：下）」では、園児たちが役になりきってセリフを言ったり踊ったり、個性輝く演技に鑑賞していた家族たちは、その元気よく演技する姿に盛んな拍手と歓声を送り、会場は温かな雰囲気につつまれていました。



健康保持と会員の楽しい交流

—塙町老人クラブ連合会・クロリティー大会—

塙町老人クラブ連合会主催の第12回塙タイムス杯クロリティー大会が12月5日（木）、塙町営体育館で行われました。町内各単位老人クラブから23チーム・157人が参加。4ブロック7レーンに分かれて予選リーグを行い、決勝は各ブロックから勝ち進んだ計8チームによるトーナメント方式で行われ、競技の結果、川上福寿会Aが優勝しました。

参加者たちは楽しく競技を行い、交流を図っていました。



楽しい競技で体も心もいきいき

まちの話題

あなたの地区の話題を提供してください。

取材に伺います。

※広報はなわに掲載された写真を希望される方は、総務課 ☎ 43-2111 までご連絡ください。

お持ちかね。あなたの出番です。

シリーズ 200



金澤 千鳥さん (上石井)

職業 介護職
趣味 買い物会 飲み会
好きな言葉 「笑顔」「挑戦」

大切な人たち

新年明けましておめでとうございます。今年一年皆さまにも幸せがありますように…。
「大切な人たち」と題して、私の周りにはたくさんといていいほど大切な人たちがいます。その方々の支えもあり、昨年一年も無事に過ぎ新年を迎えることができました。今年も頑張るために、これから大切な人たちを紹介いたします。

私は埴町で生まれ育ち、早くも37年がたちオバサンになりました。前には結婚し子どもは3人と、少し面倒くさい旦那(笑)と5人家族です。長男は小学3年生です。この子は優しいです。そしてお母さん大好きだと私が勝手に思っているだけかな、というくらいいろんな話も話してくれ、ますし努力家な子ですね。次男は幼稚園の年長です。この子とは元気で頑固で負けず嫌いです。ただ几帳面なところもあって、意外と細かいところは誰に似たのかなあ。明るくてユーモアのある子です。次男もお母さん大好きだと思います。3人目にして待望の女の子が生まれました。保育園に行っている2歳8カ月です。まあとにかく一言で言えばかわいいでしょう。ちょっととしたしくさや笑顔、小さな声で「ママ」なんて呼ばれたら胸がキュンとなりますね。今のところは皆元気なので何よりです。そして忘れては困る旦那さまは私より2つ年上です。すぐく子どもたちの面倒も見なくてほんと感謝してます。改めて「ありがとう、これからもよろしくお願いします」

■次回は堀光乃さん片貝です。
最後に今年も家族や両家の両親、私の職場の方々を大切に、支えてもらい頑張りたいです。



生田目 賢さん (上石井)

職業 運送業
趣味 魚釣り
好きな言葉 「感謝」

今の自分

埴町で生まれて28年がたち、昔とは変わってしまいました。落ち着く町で生活をしていきます。4年前に結婚して、3歳と1歳の息子と妻と暮らしています。

仕事上、朝早く夜遅くて子どもと会話や遊ぶこともできないときが多いです。子どもの頃から父親が大型トラックを運転する姿に憧れて、将来の夢が変わり、今の職業になりました。最初は反対されましたが後悔はありません。毎日弁当を渡してくれる妻に、感謝の気持ちでいっぱいです。
妻は、子どもが小さくゆっくり体を休める時間がないので、



■次回は金澤智久さん桜木町です。
休日はできるだけ子育てをしていくつもりですが難しいです。これから先、大変なことがたくさんあると思いますが、仲良く乗り越えていきたいと思っています。
今はまだ、自分では精神的に子どもだと思えますが、やがて自分の子どもたちが自慢できる父親になりたいと思っています。毎日、安全運転をして無事家につくと安心できて、子どもの寝顔を見ると明日も頑張らないうち、という気持ちになります。今まで迷惑をかけてきた両親にも、いつか親孝行ができるように頑張りたいと思います。

「東京埴会」からこんにちは



松儀 キヨ子さん 神奈川県横浜市在住 (矢祭町出身)

No.120

このコーナーでは、東京埴会の皆さんの懐かしい思い出やふるさとへの思いを紹介しています。

私の思い出

埴会、そして町民の皆さん、こんにちは。日頃は大変お世話になっております。実は私は矢祭町の出身ですが、旧高城中学校時代の友人が多数埴会の会員になっていて、その縁で入会させていたいただきました。おかげさまでいろいろな行事に参加して楽しい時を過ごさせていたいております。

さて、私の思い出ですが、夏になると近所の子どもや兄弟たちと近くの久慈川で魚釣りや水遊びをしました。時には父と幼い妹を連れて出かけましたが、この頃は楽しかったです。その父は私の小学校の入学式から1週間後に出征

し帰らぬ人となりました。私は父と入学式に行きましたので、この入学式が父との最後の思い出です。そして1番のよそ70年。本当に長い時間が経過しましたが、川での父の笑顔とみんなに見送られながら戦地に向かうその後ろ姿は、今でもはっきりと思い出されます。

もう一つ、中学校時代の思い出になりますが、私は陸上部に入り、毎日午後になると御殿河原に行って南部七校対抗戦の練習に明け暮れました。中学校までは往復3里くらいの道程だったかと思えます。遠かったですが、先輩、後輩みんな通うと楽しいものだったので。時には問題が発生し困ったこともありましたが、い

つの間にか収まっている。口げんかしてもまた仲良くなつて歩き出している。そんなことの繰り返しでしたが、今では全て良き思い出ですね。
私はこれを、いよいよ新しい年まで1カ月を切った師走の初めに書いておきます。2013年は世界中でいろいろな災害に見舞われました。我が故郷、福島でもいまだ原発問題で苦しむ多くの方々がいらっやいます。2014年こそは災害のない穏やかな年となりますよう念じてやみません。
埴会のますますの発展と皆さまのご健康、ご多幸をお祈りいたします。
(次回は、千葉県成田市在住の廣瀬久江さんです。)

「東京埴会」では会員を募集しています

平成3年2月に結成された東京埴会。現在の会員は202人です。会員には毎月「広報はなわ」や情報誌「ふるさと情報」を送るほか、ふるさと訪問・定期総会などがあります。会員の皆さんは埴町出身のお友達を、町内の皆さんは東京都などで生活しているご家族に加入をぜひおすすめください。
■年会費 3,000円(入会金はありません)
■問い合わせ 東京埴会事務局(まち振興課) ☎0247-43-2112

こんにちは赤ちゃん

11月16日から12月15日までの届出

出生時名	父	母	月/日	住所	出生時名	父	母	月/日	住所
星 湊優くん	浩 章	涼 子	11/11	大 町	矢吹有梨奈ちゃん	治 夫	ジャネット・アヴェリノ	11/26	川 上
鈴木 陽斗くん	隆 典	いずみ	11/15	上 井	大橋 蓮花ちゃん	弘 季	亜紗美	11/26	稲 沢
三村 透真くん	泰 敬	望 美	11/20	大 町	鈴木琉貴彪くん	直 貴	愛	11/28	桜 木 町
菊池 仁菜ちゃん	光 訓	美 加	11/21	大 町	割貝 心春ちゃん	直 輝	留 美	12/ 6	板 庭

※「おくやみ申し上げます」は15ページに掲載してあります。

心温まる善意に感謝(12月分)

- 飯村 サク 様 100,000円(町振興のため)
- 近藤 力 様 町振興のため



7 COLORS

まちの輝く人

No. 24

礼儀正しく元気よく

塙町ソフトテニス スポーツ少年団



▲寒さを感じさせない
元気いっぱいの
練習風景▶



「ハイ！お願いします」と元気な声が聞こえ、ラケットがボールを打つ軽快な音が体育館に響く。

塙町ソフトテニススポーツ少年団は、棚倉町と塙町の小学生18人、男子中学生4人が所属する元気あふれる少年団。創立から10年以上活動が続いている。平成15年からは近隣の小中学生との交流を目的に、毎年ソフトテニス大会を開催し、今年で10回目を迎えた。

塙町は、棚倉町や矢祭町と比較すると練習環境には恵まれていないが、町営テニスコートや体育館で毎週練習に励み、県内はもとより、茨城県の大子町や常陸太田市などで開催される大会に参加している。

また、夏休みの合宿や技術講習会などにも積極的に参加。今後も「礼儀正しく、元気よく」をモットーに、時に厳しく、時に楽しくソフトテニスに打ち込む。

●休日の当番医

1月1日(水)	和田 医院 ☎ 33-2012	1月12日(日)	東白川中央病院 ☎ 33-3263
1月2日(木)	東 館 診 療 所 ☎ 46-3165	1月13日(月)	おおひら整形外科クリニック ☎ 33-9468
1月3日(金)	大 木 医 院 ☎ 33-2424	1月19日(日)	塙 厚 生 病 院 ☎ 43-1145
1月5日(日)	塙 厚 生 病 院 ☎ 43-1145	1月26日(日)	木 村 医 院 ☎ 46-3528

●今月の納税等

国民健康保険税 7期
後期高齢者医療保険料 6期
納期限 1月31日(金)

●町の人口 9,615人(12月1日現在)

男性 4,732人(±0) 世帯数 3,308戸(-1)
女性 4,883人(-13) ()内は前月比

※広報はなわの「町の人口」は、住民台帳の人口、世帯数を掲載しています。

表紙の写真

お正月を飾る生け花を教えているのは、小原流いけばな一級家元教授の木村淳子(雅号:秀陽)さん。

小原流のいけばなを通して、豊かな表現の技法、広い知識、人と自然のあり方を伝え続けています。



編集後記

▼あけましておめでとうございませう。今年も、皆さまに親しんでいただける広報紙を目指し、努力して参りますので、ご指導ご協力の程をよろしくお願いたします。▼今年目の目標は、ダイエットで成果を出すことです。まずは散歩を継続。
(神永 亘)